

《発行》
高月地域づくり協議会
広報研修委員会
委員長 武田雅博

〈事務局〉
高月公民館
TEL(0749)85-5204
FAX(0749)85-5744

高月地域のようす
(平成24年9月1日現在)
人口
男 5,012人
女 5,137人
合計 10,149人
世帯数 3,211 戸

高月中学校 新校舎 建築工事 順調

すでに65%の進捗(8/20現在で)



来
年
春
(平成二十五年)
完
成
め
ざ
し
て
着
々
と

今年一月から本格
的に始まった高月
学校の移転改築中
学的に校舎の順調
進められていく。調
事業は、資料によ
る現在の高月中学
校舎は、昭和五年、四
と昭和四五年、四六
年に建築された建物
で、四十年が経過し
て、四十が経過し
ているため校舎のあ
ちこちにひびわれな
ど老朽化が進行して
いる。また、震度六
を超える大きな地震
があった場合、建物
が倒壊しないかを調
べる耐震診断による
と、校舎の一部に倒
壊の恐れのある耐震
強度不足の建物と判
定されている。判
定された危険を速やか
に解消し、子どもた
ちが毎日、安心して
学ぶことが出来る安
全な学校環境を提
供しようとする高月
整備事業が行われ
ている。

体育館、新学習指導
要領の改正で必須科
目となった武道柔
道の広さ七九二㎡の
鉄骨平屋建の武道場
通学自転車のための
駐輪場などの建物と
約一畝の運動場、五
面のコート有する
テニスコートを整備
する工事が一斉に進
められている。
大きなクレーン車
が動き、日に日に校
舎が形作られる現場
の様子が遠くから見
られるが、八月二十
日、協議会で現場見
学をお願ひし、施工
業者から現場の案内
を詳しく聞くことが
できた。
工事が開始から八カ
月が経過しているが、
早くも六割を超える
工事進捗率で、校舎
引き渡しは来年三月
までには十分余裕の
ある施工管理がされ
ているようだ。
二、三面で紹介する
が、来春には全ての
環境が整った高月中
学が完成する。高月
棟と広さ一、四四
㎡の鉄骨造平屋建の

私たち、中学校建築現場を見学してきました



高月中学校整備事業は、合併前に校舎の老朽と耐震不足を解消して、新たな教育環境の中で子どもたちが育つよう、計画され、高月町長浜市に引き継がれ、実施される。今年四月の新校舎開業が予定されているが、着工から待たれると、この



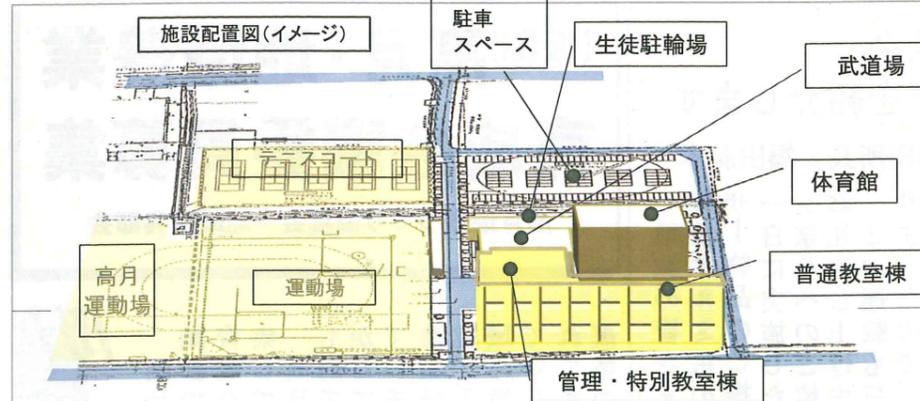
この工事を請負ったのは、長浜市の株式会社材光工務店、監理は設計を担った大津市の株式会社岩佐建築設計事務所、全面的な改築が行われている。この工事を請負ったのは、長浜市の株式会社材光工務店、監理は設計を担った大津市の株式会社岩佐建築設計事務所、全面的な改築が行われている。

武道の必須化に 新たな武道場の建設

は、正統な指導が、必要とされている。武道は、健康増進、防犯、礼儀、心身の鍛錬、など、様々な効果が期待されている。そのため、武道場は、学校に必須の施設として、整備されるべきである。



柔道、剣道専用の武道場



学校は、生徒にとっても安全な環境を整えることが、最も重要である。そのため、防犯カメラ、防犯扉、防犯錠など、防犯設備を高レベルに配置し、各階に多目的トイレの設置、エレベーターの配置、など、多目的施設を整備する。

段差解消など、バリアフリー化を図る。また、LED照明の使用で省エネ化を図る。また、自然光を取り入れることで、省エネ化を図る。また、自然光を取り入れることで、省エネ化を図る。



整地がすすめられる中学校運動場



この舗装の上に人工芝貼られるテニスコート

安全・安心を重視し、防犯カメラ、防犯扉、防犯錠など、防犯設備を高レベルに配置し、各階に多目的トイレの設置、エレベーターの配置、など、多目的施設を整備する。



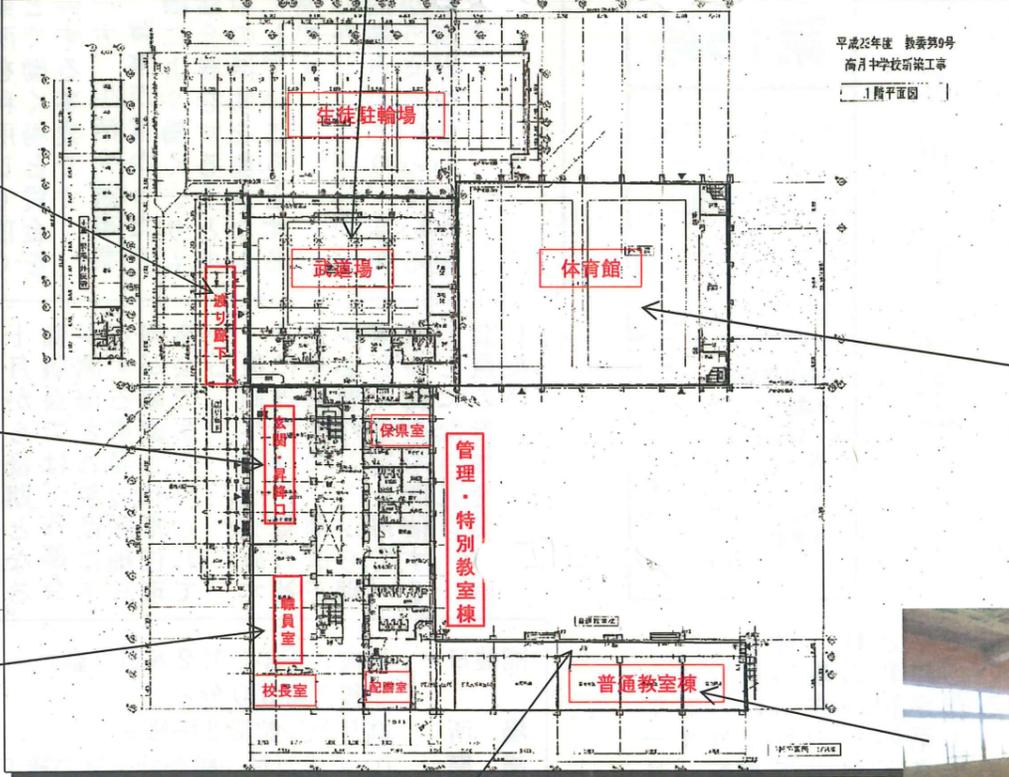
駐輪場につながる渡り廊下



玄関・昇降口



職員室



屋根はフラットで、スカイラインを強調

この学校は、平年積雪が少なく、屋根の勾配を緩くし、スカイラインを強調している。また、屋根の構造は、トラス工法で支える。このように、屋根の構造は、トラス工法で支える。



足場がぎっしり組まれた体育館

トラス工法で支える体育館の屋根組

体育館の屋根は、スカイラインを強調するため、フラットな屋根を採用している。また、屋根の構造は、トラス工法で支える。このように、屋根の構造は、トラス工法で支える。

エアコン完備の普通教室。体育館から中庭を挟んで敷地の南側に三階建ての普通教室棟が東西に立っている。教室は酷暑の夏も、厳寒の冬でも快適に学習ができるよう、エアコンが完備されている。学校は暑さ寒さなどに耐えながら学習できるように、心身の強さを育まれるよう、配慮されている。



地元産の杉材が使用される間仕切り

エアコンが整備される普通教室

グラウンドは高月運動場と一体利用が可能に

この学校は、高月運動場と一体利用が可能に設計されている。グラウンドは、高月運動場と一体利用が可能に設計されている。また、グラウンドは、高月運動場と一体利用が可能に設計されている。

つつじ作業所
からのつぶやき

おおぞら福祉会 つつじ作業所を紹介します

つつじ作業所 所長 福田義本

地域の皆さまには、先ずはアルミ缶の回収、バザー物品のご提供、九月一日に実施した福祉ゾーン祭りへの協力に、お礼申し上げます。この連載も三回目となりましたので、「おおぞら福祉会」つづつじ作業所」の概要を少し紹介いたします。おおぞら福祉会は社会福祉法人格を持ち、つつじ作業所を経営して、定員二十名の就業継続B型事業と利用定員二十名の生活介護事業の二つの事業を行っています。今現在は現員で二十五名の方が利用されています。

就労継続B型の事業を簡単に説明しますと一般企業で働きたいけれど、働くことのできない人たちが対象に、事業所を利用して頂くことで働く場と賃金を提供する事業です。一方、生活介護事業は、障害が重かったり、高齢により働くことも生活介護をすることで、日中の活動を豊かなものにしていくようにする事業です。しかし、法律に多くの問題点があり、なかなかうまくいっている事業所が少ないのが現状です。

平成二十四年度も臨時総会開催へ
十月から後期となる協議会では、各部署が開催される後期に予定する事業の詳細に画が協議され常任理事会でまとめられ、後期事業を実施するに当たり予算の補正や会則の一部改正が必要なることから、臨時総会を開催することになった。会員の参加をお願いしたい。

開催日 平成24年9月28日(金)
午後7時30分～
場所 高月公民館第2研修室
議題 (1)平成24年一般会計予算の補正
(2)協議会会則の一部改正
(3)後期の事業計画
(4)その他報告事項

編集後記
暑さ寒さも彼岸までとは良く言ったものですが、今年の夏は、盛夏も残暑もとびきりの暑さでした。彼岸が近くにつれ暑さもおさまってきたようです。▼この暑さの中ですが、日本人のすごさを感じる夏でもありません。ロンドン五輪もそうですが、節電も十分やっていますね、原発の不安も見えるので、たような感じがするのです。▼さあ、地域づくりも後半戦、バテずがんばるぞ!

(仮称)高月・地域農業 育成会議委員募集

高月地域づくり協議会・地域振興部会

明日の農業のことを考えませんか!

高月地域づくり協議会では「地域農業育成会議委員」を募集している。高月地域には今でも約千畝の美田が広がっていると言われている。高月地域の農業は、今日まで商業、工業と同様に地域の重要な産業として守られ、受け継がれてきた。ところが農業のまわりには農業者の高齢化や後継者問題、大規模農家への農地の集約、PPPによる影響など様々な課題が取り巻いている。こうした課題について、農業者個々の問題としてだけでなく、地域で考え対処すること、高月地域の農業を今後とも産業として持続させ、環境や地域保全の役割

割も担う農業を維持できるものと考えられる。高月・地域農業育成会議は、農業者とともに明日の農業のことを考え、実践しようとするものだ。現在、農業をしないで関心のある方の応募が期待されている。地域農業の明日について考えよう。

(仮称)高月・地域農業育成会議委員募集

- 募集人数 10名程度
 - 応募資格 高月地域に在住で、年齢18歳以上の方なら男女を問いません。
 - 応募期間 9月末日までに事務局までご連絡ください。
- なお、委員への報酬はお支払いできません。

- <会議の役割> 次のことを検討・協議します。
- ・PPP問題など時事問題の研修
 - ・地産地消、安全な農作物の啓発
 - ・土に親しむ子どもの育成
 - ・自治会の農地保全活動の連携
 - ・効率的な農地集約化の推進 など

申込み・お問い合わせは、高月地域づくり協議会事務局(高月公民館) TEL 85-5204